

日本アカデメイア活動報告

平成 24 年 2 月(4 月 1 日正式発足)～平成 27 年 3 月



目 次

1. 日本アカデミアの概要	1
2. 日本アカデミア幹事名簿	2
3. 日本アカデミアの主な活動	5
4. 総理・党首との交流活動	7
5. 政治リーダーとの交流会	8
6. 各省官僚との横断的な交流活動	12
7. 長期ビジョン研究会	14
8. テーマ別円卓会議等の開催	16
資料1 発足宣言文（設立趣意書）	18
資料2 発足に際してのメッセージ	19

1. 日本アカデミアの概要

(1) 発 足

平成24年4月（平成24年2月19日に発足懇親会を開催）

(2) 日本アカデミアの目的

- ①日本アカデミアは、日本の将来を担わねばならない公共人材を各界が支え、リーダーシップを涵養するための取り組みを行います。
- ②日本アカデミアは、政治家、官僚と国民各界をつなぎ直し、日本社会の各分野の知恵や経験を引き出し、人材を結集する「ハブ」として活動します。
- ③日本アカデミアは、日本の政府や政治の人的、知的、組織・制度的基盤を根本から考え直し、インフラの再整備にむけて発言します。
- ④日本アカデミアは、グローバル時代における日本の政府や政治の対外的な発信力を高めるために活動します。

(3) 日本アカデミアの主な活動内容

- ①日本のトップリーダーや日本を担うことが期待されている政治リーダーと交流し、日本の重要課題やリーダーのあり方について意見交換します。
- ②時代認識や日本の将来に関わる重要課題（「仕組み・人材」「政策」「経験・歴史」）について与野党や各界参加による「円卓会議」（日本ラウンドテーブル）を設け、認識の共有化に努めます。
- ③公共の担い手である官僚との交流・意見交換の場を設け、日本の政策課題や将来構想についてともに学び、認識の共有化に努めます。
- ④内外のリーダーを招き、「日本アカデミア・フォーラム」を開催、その年の課題について集中的な意見交流を行い、内外に発信します。
- ⑤公共領域のイノベーションにむけて、世論調査や合意形成手法のあり方、日本政治のグローバル化にむけた大使館や外国特派員との交流、大学と連携した学生との交流活動を行います。

2. 日本アカデミア幹事名簿 (氏名 50 音順)

〈共同塾頭・運営幹事・会員委員長〉

共同塾頭	牛 尾 治 朗	ウシオ電機取締役会長
共同塾頭	緒 方 貞 子	前国際協力機構理事長
共同塾頭	鎌 田 薫	早稲田大学総長
共同塾頭	古 賀 伸 明	連合会長
共同塾頭	佐々木 毅	明るい選挙推進協会会長
共同塾頭	清 家 篤	慶應義塾長
共同塾頭	濱 田 純 一	東京大学総長
共同塾頭	茂 木 友三郎	キッコーマン取締役名誉会長 取締役会議長
共同塾頭	吉 川 弘 之	科学技術振興機構研究開発戦略センター長
会員委員長	福 川 伸 次	地球産業文化研究所顧問・東洋大学理事長
運営幹事	細 谷 英 二	りそなホールディングス会長 ※平成24年11月4日逝去
運営幹事	池 田 守 男	資生堂特別顧問 ※平成25年5月20日逝去
運営幹事	曾 根 泰 教	慶應義塾大学教授
運営幹事	増 田 寛 也	東京大学大学院客員教授

〈幹 事〉

【企業経営者幹事】(37名)

有 富 慶 二	ヤマトホールディングス特別顧問兼ヤマト福祉財団理事長
池 田 弘 一	アサヒグループホールディングス相談役
石 原 邦 夫	東京海上日動火災保険相談役
伊 藤 雅 俊	味の素取締役社長
井 上 礼 之	ダイキン工業取締役会長
岩 沙 弘 道	三井不動産取締役会長
大 塚 陸 毅	東日本旅客鉄道相談役
大 橋 光 夫	昭和電工最高顧問
大 橋 洋 治	ANAホールディングス取締役会長
大 林 剛 郎	大林組取締役会長
大 宮 英 明	三菱重工業取締役会長
大八木 成 男	帝人取締役会長
大 山 健太郎	アイリスオーヤマ取締役社長

岡	素	之	住友商事相談役
岡	村	正	東芝相談役
奥	正	之	三井住友フィナンシャルグループ取締役会長
小野寺		正	KDDI取締役会長
加賀見	俊	夫	オリエンタルランド取締役会長兼CEO
金丸	恭	文	フューチャーアーキテクト取締役会長兼社長
川合	正	矩	日本通運取締役会長
木村	恵	司	三菱地所取締役会長
古賀	信	行	野村證券取締役会長
越村	敏	昭	東京急行電鉄取締役会長
小島	順	彦	三菱商事取締役会長
小林	喜	光	三菱ケミカルホールディングス取締役社長
坂根	正	弘	コマツ相談役
鈴木	茂	晴	大和証券グループ本社取締役会長
鈴木	敏	文	セブン&アイ・ホールディングス取締役会長CEO
玉塚	元	一	ローソン取締役社長
永山		治	中外製薬取締役会長兼CEO
新浪	剛	史	サントリーホールディングス取締役社長
長谷川	閑	史	武田薬品工業取締役会長兼CEO
藤森	義	明	LIXILグループ代表執行役社長兼CEO
堀場		厚	堀場製作所取締役会長兼社長
本田	勝	彦	日本たばこ産業顧問
三浦		惺	日本電信電話取締役会長
吉川	廣	和	DOWAホールディングス名誉相談役

【労働界幹事】（7名）

逢見	直	人	連合副会長・UAゼンセン会長
相原	康	伸	連合副会長・自動車総連会長
有野	正	治	連合副会長・電機連合中央執行委員長
野田	三七	生	連合副会長・情報労連中央執行委員長
岸本		薫	連合副会長・電力総連会長
山浦	正	生	連合副会長・運輸労連中央執行委員長
神津	里	季	連合事務局長

【学識者幹事】（34名）

浅島 誠 日本学術振興会理事

飯尾潤	政策研究大学院大学教授
飯野正子	津田塾大学名誉教授・日米教育交流振興財団理事長
五百旗頭真	前防衛大学校校長
井田良	慶應義塾大学大学院教授
伊藤隆敏	コロンビア大学教授・政策研究大学院大学教授
岩田喜美枝	21世紀職業財団会長
大石眞	京都大学大学院教授
大石裕	慶應義塾大学法学部長
大田弘子	政策研究大学院大学教授
笠木伸英	科学技術振興機構上席フェロー・東京大学名誉教授
北岡伸一	国際大学学長
佐藤幸治	京都大学名誉教授
鈴木佑司	法政大学教授
須藤修	東京大学大学院情報学環長
高橋進	日本総合研究所理事長
武内和彦	東京大学サステイナビリティ学連携研究機構長
田中愛治	早稲田大学政治経済学術院教授
田中明彦	東京大学教授
谷口将紀	東京大学教授
遠山敦子	トヨタ財団理事長
中西寛	京都大学大学院教授
永井良三	自治医科大学学長
永田恭介	筑波大学学長
西村清彦	東京大学大学院経済学研究科研究科長
野中尚人	学習院大学教授
橋本周司	早稲田大学副総長
羽入佐和子	お茶の水女子大学学長
藤崎一郎	上智大学特別招聘教授、前駐米大使
平野眞一	上海交通大学講席教授・平野材料創新研究所長
前田正史	東京大学理事・副学長
山下友信	東京大学大学院教授
吉野直行	慶應義塾大学名誉教授・アジア開発銀行研究所所長
若田部昌澄	早稲田大学教授

〈会計監事〉（2名）

尾崎純理	弁護士
梶川融	太陽有限責任監査法人代表社員 会長

3. 日本アカデミアの主な活動

(1) 総理・党首との交流活動

これまで日本にはなかった国民各界のリーダーが集まって総理大臣の話を聞く場づくり、また、総理・党首が重要な政治決断や重要政策を公表し広く国民に伝える場をつくることを目的としています。詳しくは7頁をご覧ください。

(2) 政治リーダーとの交流会

これまで日本に設けられる機会が少なかった政治リーダーの話をじっくり聞き、継続的に対話を重ね、本音の意見交換ができる場づくりに貢献することを目的としています。詳しくは8頁からをご覧ください。

(3) 各省官僚との横断的な交流活動

各省幹部と各界が一同に集まり、同一テーマで議論・交流する場を設け、本音で話し合う場づくり、人的・知的ネットワークを形成する場づくりを目的としています。詳しくは12頁からをご覧ください。

(4) 長期ビジョン研究会

日本全体の政策形成力を高めるため、政治、行政、民間、学界の間の研究交流を深め、日本が長期的に目指すべき将来ビジョンを構想することを目的としています。詳しくは14頁からをご覧ください。

(5) テーマ別円卓会議

特定のテーマについて、臨機に有志が集まり、短期集中的に議論を深めること、喫緊の課題に対して緊急提言することなどを目的としています。詳しくは16頁からをご覧ください。

(6) 次世代政治家との交流会合

次世代の日本を担う若手・新人政治家が、政治家として必要とされるさまざまな知識やスキルを習得する一助となるため、その手始めとして、自民党若手議員有志との交流会を11回開催しました。

(7) マスコミ有志と有識者との交流会

これからの日本を考えるうえで重要な課題について、「歴史」「経験」「リーダー像」等を切り口に、より長期的な視点から議論することを目的に、マスコミ有志、有識者有志との交流会を19回開催しました。

(8) 外国メディア、大使館関係者との交流会

グローバル化への対応の一環として、海外の有力政治家や駐日大使との交流活動を行いました。「両国間の現状と課題」を共通テーマに、各国との友好関係・経済関係の発展を目的に意見交流を行いました。

また、当面する外交・内政上の課題について、わが国の政治家と、駐日大使・公使をはじめとする駐日外国公館スタッフおよび海外メディア関係者が直接意見交換する機会が限られる中、チャタムハウスルールに則り11回の会合を開催し、真摯な意見交流を行いました。

(9) アカデメイア・フォーラム

日本アカデメイアのアニュアルレポート的な活動の集大成の場として、年に1回開催し、メンバーシップ制を主とする日本アカデメイアの活動の中にあって、「オープン」を基軸とする活動です。

日本アカデメイアの主要な活動である「長期ビジョン研究会」の研究報告を中心に、300名以上の参加者を得て開催しています。

4. 総理・党首との交流活動

内閣総理大臣との交流会を計4回（野田佳彦総理大臣2回、安倍晋三総理大臣2回）、党首との交流会を計4回（自由民主党：谷垣禎一総裁1回、安倍晋三総裁2回、公明党：山口那津男代表1回）開催しました。

本交流会は、これまで日本にはなかった国民各界のリーダーが集まって総理大臣の話を聞く場をつくり、そして、総理・党首が重要な政治決断や重要政策を公表し、広く国民に伝える場をつくることを目的としました。

野田佳彦総理大臣（当時）は、「社会保障と税の一体改革」実現にむけ政治生命を賭ける強い決意を示しその後の三党合意、法案成立へと至る大きな流れをつくりました。また、安倍晋三総理大臣は、アベノミクス第3の矢である「成長戦略」第2弾の具体的内容を公表する場として本交流会を活用されました。

【内閣総理大臣との交流会】（開催日順、役職は会合開催当時のもの）

野田佳彦・内閣総理大臣との第1回交流会

日 時：平成24年3月24日（土）16時～17時30分

会 場：ザ・プリンスパークタワー東京地下2階「コンベンションホールE」

野田佳彦・内閣総理大臣との第2回交流会

日 時：平成24年6月10日（日）12時30分～13時30分

会 場：ザ・プリンスパークタワー東京地下2階「ボールルームG」

安倍晋三・内閣総理大臣との第1回交流会・立食懇親会

日 時：平成25年5月17日（金）18時15分～20時30分

会 場：ANAインターコンチネンタルホテル東京・地下1階宴会場

安倍晋三・内閣総理大臣との第2回交流会・立食懇親会

日 時：平成25年12月19日（木）18時00分～19時30分

会 場：ザ・プリンスパークタワー東京地下2階「コンベンションホールF・G」

【党首との交流会】（開催日順、役職は会合開催当時のもの）

谷垣禎一・自由民主党総裁との第1回交流会

日 時：平成24年4月25日（水）12時30分～14時

会 場：ANAインターコンチネンタルホテル東京・地下1階「ギャラクシー」

安倍晋三・自由民主党総裁との第1回交流会

日 時：平成24年11月7日（水）8時～9時30分

会 場：ザ・キャピトルホテル東急1階「鳳凰」

安倍晋三・自由民主党総裁との第2回交流会

日 時：平成24年11月29日（木）8時～9時30分

会 場：ザ・キャピトルホテル東急1階「鳳凰」

山口那津男・公明党代表との第1回交流会

日 時：平成25年9月4日（水）8時30分～9時30分

会 場：ANAインターコンチネンタルホテル 地下1階「ギャラクシー」

5. 政治リーダーとの交流会

これまで日本に設けられる機会が少なかった、次世代を担う与野党政治リーダーの話をじっくり聞き、継続的に対話を重ね、本音の意見交換を行える場づくりに努めました。また、本交流会は、政治リーダーからの重要政策の発表の場ともなり、自由闊達な意見交換を行いました。

1. 菅義偉・衆議院議員（元総務大臣）との第1回交流会

日時 平成24年5月9日（水）11時30分～13時
会場 ANAインターコンチネンタルホテル東京地下1階「グローリー」

2. 岡田克也・衆議院議員（副総理）との第1回交流会

日時 平成24年5月13日（日）16時～17時30分
会場 ホテルニューオータニ本館地下1階「舞」

3. 石破茂・衆議院議員（前自民党政調会長）との第1回交流会

日時 平成24年5月14日（月）7時30分～9時
会場 ザ・キャピトルホテル東急1階「鳳凰」

4. 石原伸晃・衆議院議員（自民党幹事長）との第1回交流会

日時 平成24年5月15日（火）8時～9時20分
会場 ANAインターコンチネンタルホテル東京地下1階「グローリー」

5. 林芳正・参議院議員（自民党政調会長代理）との第1回交流会

日時 平成24年5月29日（火）12時～13時30分
会場 ANAインターコンチネンタルホテル東京地下1階「ギャラクシー」

6. 樽床伸二・衆議院議員（民主党幹事長代行）との第1回交流会

日時 平成24年5月30日（水）8時～9時30分
会場 ANAインターコンチネンタルホテル東京地下1階「グローリー」

7. 玄葉光一郎・衆議院議員（外務大臣）との懇談会

日時 平成24年6月1日（金）19時30分～21時
会場 ANAインターコンチネンタルホテル東京37階「シリウス」

8. 石原伸晃・衆議院議員（自民党幹事長）との第2回交流会

日時 平成24年6月5日（火）8時～9時20分
会場 ザ・キャピトルホテル東急1階「鳳凰」

9. 菅義偉・衆議院議員（元総務大臣）との第2回交流会

日時 平成24年6月7日（木）8時～9時30分
会場 ザ・キャピトルホテル東急1階「鳳凰」

10. 石破茂・衆議院議員（前自民党政調会長）との第2回交流会

日時 平成24年6月11日（月）7時30分～09時
会場 ザ・キャピトルホテル東急1階「鳳凰」

11. 井上義久・衆議院議員（公明党幹事長）との第1回交流会

日時 平成24年6月12日（火）8時～09時30分
会場 ザ・キャピトルホテル東急1階「鳳凰」

12. 枝野幸男・衆議院議員（経済産業大臣）との第1回交流会

日時 平成24年6月14日（木）7時30分～09時
会場 ANAインターコンチネンタルホテル東京地下1階「ギャラクシー」

13. **林芳正・参議院議員（自民党政調会長代理）との第2回交流会**
日時 平成24年6月19日（火）12時～13時30分
会場 ANAインターコンチネンタルホテル東京地下1階「ギャラクシー」
14. **岡田克也・衆議院議員（副総理）との第2回交流会**
日時 平成24年6月24日（日）16時～17時30分
会場 ホテルニューオータニ ガーデンコート 宴会場階「翠鳳」
15. **枝野幸男・衆議院議員（経済産業大臣）との第2回交流会**
日時 平成24年7月11日（水）8時～9時10分
会場 ザ・キャピトルホテル東急1階「鳳凰」
16. **樽床伸二・衆議院議員（民主党幹事長代行）との第2回交流会**
日時 平成24年7月18日（水）8時～9時30分
会場 ザ・キャピトルホテル東急1階「鳳凰」
17. **玄葉光一郎・衆議院議員（外務大臣）との第1回交流会**
日時 平成24年7月23日（月）8時～9時30分
会場 ザ・キャピトルホテル東急1階「鳳凰」
18. **前原誠司・衆議院議員（民主党政調会長）との第1回交流会**
日時 平成24年7月25日（水）11時30分～13時
会場 ホテルニューオータニ本館地下1階「悠」
19. **古川元久・衆議院議員（国家戦略担当大臣）との第1回交流会**
日時 平成24年7月31日（火）18時～19時30分
会場 ザ・キャピトルホテル東急1階「鳳凰」
20. **大島理森・衆議院議員（自民党副総裁）との第1回交流会**
日時 平成24年8月22日（水）12時～13時30分
会場 ザ・キャピトルホテル東急1階「鳳凰」
21. **城島光力・衆議院議員（民主党国対委員長）との第1回交流会**
日時 平成24年8月27日（月）8時～9時30分
会場 ザ・キャピトルホテル東急1階「鳳凰」
22. **安住淳・衆議院議員（民主党幹事長代行）との第1回交流会**
日時 平成24年11月2日（金）8時～9時30分
会場 ザ・キャピトルホテル東急1階「鳳凰」
23. **細野豪志・衆議院議員（民主党政調会長）との第1回交流会**
日時 平成24年11月12日（月）8時～9時00分
会場 ANAインターコンチネンタルホテル東京地下1階「ギャラクシー」
24. **石破茂・自民党幹事長との第3回交流会**
日時 平成24年11月21日（水）8時～9時30分
会場 ホテルニューオータニ ガーデンタワー宴会場階「鳳凰」
25. **甘利明・衆議院議員（経済再生担当大臣）との第1回交流会**
日時 平成25年2月20日（水）12時15分～13時45分
会場 ホテル・ニューオータニ ガーデンタワー宴会場階「鳳凰」
26. **菅義偉・衆議院議員（内閣官房長官）との第3回交流会**
日時 平成25年3月23日（土）12時～14時
会場 ANAインターコンチネンタルホテル東京 地下1階「ギャラクシー」
27. **林芳正・参議院議員（農林水産大臣）との第3回交流会**
日時 平成25年4月22日（月）7時45分～8時45分
会場 ザ・キャピトルホテル東急1階「鳳凰」

- 28. 岸田文雄・衆議院議員（外務大臣）との第1回交流会**
日 時 平成25年5月13日（月）8時～9時30分
会 場 ANAインターコンチネンタルホテル東京 地下1階「ギャラクシー」
- 29. 石破茂・衆議院議員（自民党幹事長）との第4回交流会**
日 時 平成25年5月15日（水）12時～13時
会 場 帝国ホテル本館4階「桜」
- 30. 田村憲久・衆議院議員（厚生労働大臣）との第1回交流会**
日 時 平成25年5月27日（月）8時～9時30分
会 場 ザ・キャピトルホテル東急1階「鳳凰」
- 31. 小野寺五典・衆議院議員（防衛大臣）との第1回交流会**
日 時 平成25年6月15日（土）12時～13時30分
会 場 ホテルニューオータニ 本館1階「芙蓉」
- 32. 井上義久・衆議院議員（公明党幹事長）との第2回交流会**
日 時 平成25年6月24日（月）8時～9時30分
会 場 ホテルニューオータニ ガーデントワー宴会場階「鳳凰」
- 33. 菅義偉・衆議院議員（内閣官房長官）との第4回交流会**
日 時 平成25年6月30日（日）12時～13時
会 場 ザ・キャピトルホテル東急1階「鳳凰」
- 34. 甘利明・衆議院議員（経済再生担当大臣）との第2回交流会**
日 時 平成25年7月1日（月）12時～13時30分
会 場 ザ・キャピトルホテル東急1階「鳳凰」
- 35. 茂木敏充・衆議院議員（経済産業大臣）との第1回交流会**
日 時 平成25年8月7日（水）8時30分～10時
会 場 帝国ホテル 本館4階「桜」
- 36. 石破茂・衆議院議員（自民党幹事長）との第5回交流会**
日 時 平成25年9月11日（水）8時～9時
会 場 帝国ホテル 本館4階「桜」
- 37. 菅義偉・衆議院議員（内閣官房長官）との第5回交流会**
日 時 平成25年10月26日（土）12時～13時10分
会 場 ザ・キャピトルホテル東急1階「鳳凰」
- 38. 下村博文・衆議院議員（文部科学大臣）との第1回交流会**
日 時 平成25年12月11日（水）12時～13時30分
会 場 ザ・キャピトルホテル東急1階「鳳凰」
- 39. 小野寺五典・衆議院議員（防衛大臣）との第2回交流会**
日 時 平成25年12月12日（木）8時～9時10分
会 場 ザ・キャピトルホテル東急1階「鳳凰」
- 40. 石破茂・衆議院議員（自民党幹事長）との第6回交流会**
日 時 平成26年1月22日（水）12時30分～14時
会 場 ホテルニューオータニ ガーデントワー宴会場階「鳳凰」
- 41. 井上義久・衆議院議員（公明党幹事長）との第3回交流会**
日 時 平成26年2月18日（火）8時～9時30分
会 場 帝国ホテル4階「桜」
- 42. 菅義偉・衆議院議員（内閣官房長官）との第6回交流会**
日 時 平成26年4月19日（土）11時30分～12時30分
会 場 ANAインターコンチネンタルホテル東京地下1階「ギャラクシー」

- 43. 茂木敏充・衆議院議員（経済産業大臣）との第2回交流会**
日 時 平成26年7月14日（月）12時45分～14時
会 場 帝国ホテル本館4階「桜」
- 44. 石破茂・衆議院議員（自民党幹事長）との第7回交流会**
日 時 平成26年7月31日（木）12時～13時
会 場 ザ・キャピトルホテル東急1階「鳳凰」
- 45. 菅義偉・衆議院議員（内閣官房長官）との第7回交流会**
日 時 平成26年8月2日（土）12時～13時
会 場 ホテルニューオータニ ザ・メイン宴会場階「芙蓉の間」
- 46. 高村正彦・衆議院議員（自民党副総裁）との第1回交流会**
日 時 平成26年8月22日（金）8時～9時
会 場 帝国ホテル本館4階「桜」
- 47. 新藤義孝・衆議院議員（総務大臣）との第1回交流会**
日 時 平成26年8月27日（水）12時～13時
会 場 ANAインターコンチネンタルホテル地下1階「ギャラクシー」
- 48. 森まさこ・参議院議員（内閣府特命担当大臣）との第1回交流会**
日 時 平成26年8月28日（木）8時30分～9時30分
会 場 ザ・キャピトルホテル東急1階「鳳凰」
- 49. 稲田朋美・衆議院議員（内閣府特命担当大臣）との第1回交流会**
日 時 平成26年8月29日（金）12時～13時
会 場 ANAインターコンチネンタルホテル地下1階「ギャラクシー」
- 50. 菅義偉・衆議院議員（内閣官房長官）との第8回交流会**
日 時 平成26年9月23日（火・祝）12時30分～13時30分
会 場 ホテルニューオータニ ザ・メイン宴会場階「芙蓉の間」
- 51. 塩崎恭久・衆議院議員（厚生労働大臣）との第1回交流会**
日 時 平成26年9月24日（水）8時～9時30分
会 場 ホテルオークラ 別館2階「オーチャードルーム」
- 52. 稲田朋美・衆議院議員（自民党政調会長）との第2回交流会**
日 時 平成27年1月15日（木）12時～13時30分
会 場 ホテルニューオータニ ザ・メイン宴会場階「芙蓉の間」
- 53. 甘利明・衆議院議員（経済再生担当大臣）との第3回交流会**
日 時 平成27年1月23日（金）12時30分～14時
会 場 ホテルニューオータニ ガーデントワー宴会場階「鳳凰の間」

6. 各省官僚との横断的な交流活動

各省の官僚と各界が本音で話し合う場が減少し、人的・知的ネットワークが細った結果、わが国の政策形成能力が低下しています。

そこで、各省幹部と各界が一同に集まり、同一テーマで議論・交流する場を設けることに努めました。現在、政府が重要課題として取り組んでいる人口減少問題についても、きわめて早い段階で取り上げ、問題意識を共有することに努めました。

【省庁】

総務省／外務省／財務省／文部科学省／厚生労働省／農林水産省／
経済産業省／国土交通省

【会合開催記録】

第1回

日時 平成24年3月26日（月）7時45分～9時15分
会場 ザ・キャピトルホテル東急1階「桐」
テーマ 「国益最大化のためにそれぞれの立場で何ができるか」

第2回

日時 平成24年4月24日（火）7時45分～9時15分
会場 ANAインターコンチネンタルホテル東京地下1階「オーロラ」
テーマ 「世界の変化と日本の課題」

第3回

日時 平成24年5月28日（火）8時～9時15分
会場 ANAインターコンチネンタルホテル東京地下1階「オーロラ」
テーマ 「成熟と多様性を力に ～価格競争から価値創造経済へ～」

第4回

日時 平成24年7月5日（木）8時～9時15分
会場 ザ・キャピトルホテル東急1階「鳳凰」
テーマ 「地方自治の現状と課題～地方分権・地域主権改革を中心に～」

第5回

日時 平成24年10月24日（水）8時～9時15分
会場 ANAインターコンチネンタルホテル東京地下1階「ギャラクシー」
テーマ 「ポスト一体改革～社会保障改革の課題」

第6回

日時 平成24年11月28日（水）8時～9時15分
会場 ANAインターコンチネンタルホテル東京地下1階「ギャラクシー」
テーマ 「大統領選挙後の米国の課題と日米同盟」

第7回

日時 平成25年1月18日（金）8時～9時15分
会場 ホテルニューオータニ ガーデントワー宴会場階「翠鳳」
テーマ 「インフラ（社会資本）整備の現状と課題について」

第8回

日時 平成25年3月6日（水）8時～9時15分
会場 ザ・キャピトルホテル東急1階「鳳凰」
テーマ 「教育改革－高等教育を中心に－」

第9回

日時 平成25年4月8日（月）8時～9時15分
会場 ザ・キャピトルホテル東急1階「鳳凰」
テーマ 「「攻めの農林水産業」の展開」

第10回

日時 平成25年7月17日（水）8時～9時15分
会場 ホテルオークラ別館2階「メイプルルーム」
テーマ 「人口減少社会の現状と課題」

第11回

日時 平成25年9月20日（金）8時～9時15分
会場 帝国ホテル本館4階「桜の間」
テーマ 「人口減少社会の現状と課題」（第2回）

7. 長期ビジョン研究会

いまの日本は、将来の展望が描けず、危機的な状況であるにもかかわらず、危機を乗り越えるために必要な人材・知恵・経験の結集ができていません。政と官、官と民、民と民のネットワークは、あらゆるところで切れています。大平内閣の時代に、いわゆる「大平政策研究会」が作られ、この当時の経営者や有識者、官僚のネットワークの蓄積がその後の日本の政策形成や人的なネットワーク形成に大きな役割を果たしました。しかし、現在は、この人的資産を使い果たしてしまっています。

そこで、日本全体の政策形成力を高めるため、政治、行政、民間、学界の間の研究交流を深め、日本が長期的に目指すべき将来ビジョンを構想することを目的として、約100名、5つの研究グループからなる長期ビジョン研究会を立ち上げました。各グループとも「3つの問い」を立てて研究に取り組み、2年間で80回の会合を重ね、メンバー間のネットワークを築きました。研究成果をとりまとめ、「アカデメイア・フォーラム」にて発表しました。

【15の問い】

【第1グループ：日本力研究】

- ・日本はどのような国なのか？（強み、弱み、魅力—歴史的、文化的、経済的、ブランド、技術—現状認識）
- ・日本にはどのような国になれる可能性があるのか？（潜在力、方向性）
- ・日本のブランディング戦略、発信力、世界に向けたアジェンダセッティングをどうするのか？（戦略、具体論）

【第2グループ：国際問題研究】

- ・日本はグローバル社会においてどのような国家を目指すのか。そして、その目的意識をどのような形で世界に知らしめるのか。
- ・東アジア地域の安定と協力関係の強化において、日本はどのような役割を果たすべきか。（中国、朝鮮半島、台湾、ASEAN、インド、オーストラリアとの関係）
- ・日米同盟の将来像をどう考えるか。（二国間の役割分担、東アジア地域における展開、グローバル社会における役割）

【第3グループ：価値創造経済モデルの構築研究】

- ・イノベーションはどこで起きるのか？価値創造とは何か？
- ・技術で勝って、事業でも勝つためにはどうするのか？
- ・日本が将来にわたって成長するためには、どのようなしくみが必要か？

【第4グループ：社会構造研究】

- ・社会構造を立て直すには、何を再構築もしくは新たに創造すべきか？
- ・向かうべき方向性および到達点として、何を具体的に目標にすべきか？
- ・目標の実現に向けて、国、自治体、企業、組合、個人は、いかなる責任を果たし、何を実行すべきか。

【第5グループ：統治構造研究】

- ・どうすれば、政治のトップがよりよい決断に至ることができるのだろうか。（最高指導者・権力中枢の作動条件）
- ・どうすれば、国家の方向性について、適切かつ迅速な決定ができるのだろうか。（国家意思確定過程の合理化）
- ・どうすれば、政府と民間の間で、必要な情報・知識・知恵が交換できるのだろうか。（政府と民間との間の知恵と人材の交流）

【長期ビジョン研究会グループ編成】

共同座長	日本力	国際問題	価値創造経済モデルの構築	社会構造	統治構造
<p>共同座長</p> <p>岡村正 (東芝相談役) 福川伸次 (東洋大学理事長)</p> <p>石原邦夫・東京海上日動火災保険相談役 岩沙弘道・三井不動産会長 大橋洋治・ANAホールディングス会長 大林剛郎・大林組会長 大八木成男・帯人会長 大山健太郎・7/11社長 小野寺正・KDDI 会長 古賀信行・野村證券会長 越村敏昭・東京急行電鉄会長 鈴木茂晴・大和証券グループ本社長 永山治・中外製薬会長兼 CEO 木田勝彦・日本たばこ産業顧問 佐藤誠一郎・7/11HD 執行役員 船戸崇・三菱重工取締役常務執行役員 CAO/CRO</p>	<p>井上礼之・7/11工業会長 大橋洋治・ANAホールディングス会長 大林剛郎・大林組会長 岡素之・住友商事相談役 典正之・三井住友フィナンシャルグループ会長 小島順彦・三菱商事会長 堀場厚・堀場製作所会長兼社長</p>	<p>長谷川閑史 (武田薬品工業会長COO) 坂根正弘 (コソ相談役)</p> <p>伊藤雅俊・味の素社長 大八木成男・帯人会長 大山健太郎・7/11社長 小野寺正・KDDI 会長 金丸恭文・フューチャー・キョウト会長兼社長 川合正矩・日本通運会長 新浪剛史・7/11ホールディングス社長 藤森義明・LIXILグループ代表執行役社長 兼 CEO 吉川廣和・DOMOホールディングス名誉相談役 榊神幸夫・三菱重工常務執行役員 機械設備システム化副社長兼生産総括部長 福田俊司・ユニオン・昭和取締役社長</p>	<p>濱田純一 (東大総長) 清家篤 (慶應義塾長)</p> <p>有富慶二・7/11特別顧問 兼ヤマト福祉財団理事長 大塚陸毅・東日本旅客鉄道相談役 加賀見俊夫・7/11ホールディングス会長兼 CEO 木村恵司・三菱地所会長 古賀信行・野村證券会長 三浦暉・日本電信電話会長</p>	<p>佐々木毅 (明るい選挙推進協会会長) 大橋光夫 (昭和電工最高顧問)</p> <p>岡村正・東芝相談役 木村恵司・三菱地所会長 坂根正弘・コソ相談役 永山治・中外製薬会長兼 CEO 長谷川閑史・武田薬品工業会長 CEO 木田勝彦・日本たばこ産業顧問</p>	
<p>経営者 (氏名 50 音順)</p>	<p>有野正治・電機連合中央執行委員長 柴田謙司・NTT 労働組合 ヨシエカズヨシノブ 本部執行委員長 竹詰仁・連合経済政策局長</p>	<p>山崎和之・内閣官房内閣審議官 (国家安全保障局担当) 武内良樹・財務省国際局次長 前田哲・内閣官房内閣審議官 (国家安全保障局担当)</p>	<p>山浦正生・運輸労連中央執行委員長 斗内利夫・UAゼンセイ常任中央執行委員 末永人・連合東京局長</p>	<p>相原藤伸・自動車総連会長 坂本達哉・日立製作所労働組合 中央執行委員長 村上陽子・連合非正規労働者 総合同長</p>	<p>野田三七生・情報労連 中央執行委員長 難波淳介・全日通労働組合 中央執行委員長 仁平章・連合企画局長</p>
<p>労働組合</p>	<p>高橋道和・内閣官房教育再生実行会議 担当室長 枝元真徹・水産庁資源管理部長 多田明弘・資源エネルギー庁 電力・ガス事業部長 栗田卓也・国土交通省大臣官房審議官 (総合政策、土地・建設産業)</p>	<p>信田智人 (国際大学研究所教授) 池内恵 (東大大学院教授) 神保謙 (慶應義塾大学准教授) 鈴木佑司 (法政大学教授)</p>	<p>山下賢志・厚生労働省大臣官房 審議官 (雇用均等・児童家庭、 少子化対策担当) 堀川白良・農林水産省 東海農政局次長 西山圭太・原子力損害賠償・ 廃炉等支援機構連絡調整室次長 藤井健・国土交通省 関東地方整備局副局長</p>	<p>黒田武一郎・内閣官房副長官補付 内閣審議官 常盤豊・文部科学省研究振興局長 鈴木俊彦・厚生労働省 社会・援護局長</p>	<p>山崎重孝・内閣官房内閣総務官室 内閣審議官 垂秀夫・外務省大臣官房総務課長 藤井雄志・財務省大臣官房審議官 (主税局担当)</p>
<p>官僚</p>	<p>曾根泰教 (慶應義塾大学院教授) 今井義典 (立命館大学客員教授、元NHK副会長) 小林慶一郎 (慶應義塾大学教授) 高橋進 (日本総合研究所理事長) 遠山敬子 (7/11財団理事長) 廣田尚子 (7/11・女子美術大学教授) 藤崎一郎 (上智大学特別助理教授、前埼玉大助)</p>	<p>玄田有史 (東大大学教授) 宇野重規 (東大大学教授) 駒村康平 (慶應義塾大学教授) 原秀樹 (国際交流基金企画部 事業戦略課課長)</p>	<p>野田有史 (東大大学教授) 宇野重規 (東大大学教授) 駒村康平 (慶應義塾大学教授) 原秀樹 (国際交流基金企画部 事業戦略課課長)</p>	<p>野田有史 (東大大学教授) 宇野重規 (東大大学教授) 駒村康平 (慶應義塾大学教授) 原秀樹 (国際交流基金企画部 事業戦略課課長)</p>	<p>野田有史 (東大大学教授) 宇野重規 (東大大学教授) 駒村康平 (慶應義塾大学教授) 原秀樹 (国際交流基金企画部 事業戦略課課長)</p>
<p>学識者</p>	<p>1 8 回開催</p>	<p>1 7 回開催</p>	<p>1 6 回開催</p>	<p>1 5 回開催</p>	<p>1 5 回開催</p>
<p>会合開催数</p>	<p>1 8 回開催</p>	<p>1 7 回開催</p>	<p>1 6 回開催</p>	<p>1 5 回開催</p>	<p>1 5 回開催</p>

8. テーマ別円卓会議等の開催

交流会等における議論のなかで提起された個別テーマについて、臨機に関心を寄せる有志が集まり、短期集中的に議論を深め、喫緊の課題について提言することを目的として設置されたものです。

(1) 国会改革に関する円卓会議

日本の総理が国会に拘束され、外交の場に十分に出られず国益を損なっているといった、与野党共通に考えるべき課題について、「政治リーダーとの交流会」の場で問題提起されたことから、日本アカデメイア有志による「国会改革に関する円卓会議」を設置し、緊急提言を発表しました。提言発表後、総理の国会出席日数は軽減にむかい、また予算関連法案の取り扱いについても与野党の合意が図られるなど、円滑な国会運営に向けた取組みがすすめられています。

① 雑誌発表

掲 載 誌 『月刊 文藝春秋』10月号（2012年9月10日発売号）
タイトル 「国会改革」憂国の決起宣言
寄 稿 者 大橋光夫／岡村 正／坂根正弘／長谷川閑史／古賀伸明
／佐々木毅

② 記者会見

日 時 平成24年9月6日（木）16時30分
会 場 ザ・キャピトルホテル東急1階「鳳凰」
会 見 者 大橋光夫／岡村 正／長谷川閑史／古賀伸明／佐々木毅
／野中尚人

(2) 政策と科学の円卓会議

呼び掛け人 吉川弘之／佐々木毅／曾根泰教／浅島誠／笠木伸英

アカデミズムと産業界の間で、本音で意見交換し、行動を起こす場として「政策と科学の円卓会議」を設置し、4回の会合を重ね、科学者の役割やポストク問題についての認識を深めました。

第1回

日 時 平成24年12月26日（水）9時30分～11時
会 場 ANAインターコンチネンタルホテル東京地下1階「グロリー」
テ ー マ 「政治的意思と科学者の役割意識との邂逅」

第2回

日時 平成25年2月20日(水) 18時～19時30分
会場 ANAインターコンチネンタルホテル東京地下1階「グローリー」
テーマ 「科学技術イノベーション政策の司令塔強化」
～総合科学技術会議・首相科学顧問・公的シンクタンク～

第3回

日時 平成25年6月5日(水) 8時～9時30分
会場 帝国ホテル本館3階「鶴の間」
テーマ 「我が国社会の人材教育の問題と当事者による解決(社会技術)」

第4回

日時 平成25年7月8日(月) 8時～9時30分
会場 ANAインターコンチネンタルホテル東京地下1階「グローリー」
テーマ 「若者の人材育成について～産業界の視点から～」

(3) 民主主義のイノベーション会議

政権交代時代の政府・政党と国民各界のあり方や政権を担える政党のあり方、そして、これからの政治と社会のあり方を議論する「民主主義のイノベーション会議」を設置し、5回の会合を開催しました。

第1回

日時 平成25年12月2日(月) 8時～9時30分
場所 ザ・キャピトルホテル東急2階「桜」
テーマ 「日本の民主主義の進化と連合への期待」

第2回

日時 平成25年12月16日(月) 8時～9時30分
場所 ザ・キャピトルホテル東急2階「桜」
テーマ 「連合の政策と政治方針について」

第3回

日時 平成26年1月17日(金) 8時～9時30分
場所 ザ・キャピトルホテル東急2階「桜」
テーマ 「民意の軌跡・改革の本義・民主党とは何だったのか」

第4回

日時 平成26年3月5日(水) 8時～9時30分
場所 ザ・キャピトルホテル東急2階「桜」
テーマ 「日本政治におけるオルタナティブの可能性について」

第5回

日時 平成26年4月16日(水) 8時～9時30分
場所 ザ・キャピトルホテル東急1階「桐」
意見交換 「日本政治の現状と課題について」
安倍内閣及び今後の政局の見通しについて
日本の政党政治—とくに野党の立て直しについて—

発足宣言文（設立趣意書）

いま、世界は大きく動揺し、わが国はこの数年の間に多くの重要な選択を行わねばならない歴史的な節目を迎えています。そして、わが国が今日の国内外の危機を乗り越えていくためには、何よりも先ず、私たちの政府や政治の人的・知的基盤、組織・制度的基盤を根本から考え直さざるを得ない事態に立ち至っていることは、すでに多くの国民の合意するところであろうと思います。

とりわけ、困難な時代に立ち向かう日本社会の精神的エネルギーと人材をいかにして活用・涵養するかは、いまや喫緊の課題であると言わざるを得ません。私たちはこのような認識のもと、①日本に眠っている国民の知恵と経験、人材を結集しうる環境を整えるとともに、②日本の将来を担わねばならない公共人材を各界が短期的な利害得失を超え、長期的な視野に立って支えていくための取り組みを開始しなければならないとの結論に至り、ここに、「日本アカデメイア」を立ち上げることを決意いたしました。

「日本アカデメイア」は、日本の公共を立て直すための各界をつなぐハブ組織であり、人材と知と経験の交流の場であることをめざします。私たちはこの営みを、日本を担うことが求められている政治リーダーや官僚と国民各界が交流し、ともに学びながら、日本の直面する課題や時代認識、経験を共有し合うところから始めたいと思います。

いま、私たちは、過去の手法を漫然と踏襲し、状況に逐次対応することでは到底対処できない時代の只中に生きています。「安住の精神」で物事を処理しようとするリアリズムの深刻な欠如が、日本社会の危機をさらに増幅させています。

こうした時代にあっては、私たちは、「基本に帰る」必要があります。「基本に帰る」とは、物事の本質を見極める精神的な意味でのタフさと実力を身につけることに他なりません。原理的な問いを出し合うことによって共感力と想像力を鍛え直し、知の体系化をうながし、リーダーのなすべきことを自己確認し、再定義する各人の真摯な取り組みが必要です。そして、そのための環境を整備することが、いま各界に求められています。

私たちが、新たに発足させるこの組織を「日本アカデメイア」と名付けたのも、そうした根源的な問いかけを始めることこそが、日本の急務であると考えからです。私たちは、こうした思いを胸に、経済界、労働界、教育研究機関、学識者など問題意識を共有する国民各界の心ある方々に呼びかけ、ここに、「日本アカデメイア」を立ち上げます。

平成24年2月19日

「日本アカデメイア」発足懇親会

発足に際してのメッセージ

佐々木 毅 共同塾頭

於：平成24年2月19日発足懇親会

「日本アカデメイア」の発足に際し、発起人を代表してご参加の皆様に対し、深い敬意と感謝を申し述べたいと存じます。

本会は日本の将来に対する深い危機感を持ち、それをどうにか打開しなければならないという志を抱く人々からなる同志的な結合体であります。現在の日本、特に、政治全体はこうした危機感に応えるには程遠いものがあると言わざるをえませんが、その背後には精神的に弛緩し、とかく目先の理屈にばかり拘泥する、活力を失った社会が広範に広がっています。福沢諭吉は1875年に刊行した『文明論之概略』において、世の中の大半を占める「世間通常の人物」が生み出す世論は「前代を顧て退くこともなく、後世に向て先見もなく、あたかも一処に止て動かざるが如きものなり」と喝破しています。「その意見の及ぶ所近浅」である限り、「議論の本位」はいつまで経っても確立せず、徒に右往左往するばかりであるというわけです。出口は唯一つ、「高尚の地位を占めて前代を顧み、活眼を開て後世を先見」する以外にはないというのが、その結論でした。

本会に参加された皆様の日々の活動の舞台はさまざまありますが、本会を正しく「高尚の地位を占めて前代を顧み、活眼を開て後世を先見」する会にするのがわれわれの希望であります。参加者がこの志を掲げて互に意志の疎通を計り、新たな未来の可能性を展望できる境地に辿り着くよう努力する場でありたいと存じます。福沢諭吉が辿り着くべき境地としたのは「聡明の大智」「聡明叡智の働」でありましたが、それは、「人事の軽重大小を分別し、軽小を後にして重大を先にし、その時節と場所とを察するの働」である「公智」でありました。これは政治を含め、あらゆる実践的判断の究極の姿を見事に表現したものに他なりません。本会は、今の日本において「聡明の大智」「聡明叡智の働」はどうあるべきかという問題に深くこだわり続け、それを通して公共人材の基盤形成に寄与したいと存じます。

アカデメイアという名称は古代ギリシアの哲人、プラトンがアテナイの郊外に開設した学園の名称を拝借しました。この学園の実態は必ずしも明らかではありませんが、私を知る限り、学頭プラトンが一方向的に講義をする場ではなく、率直な議論を交わすのを大きな特徴としていたといわれております。そこから政治家を初め、多くの人材が輩出しましたが、その基本理念の一つが「魂の向きを変える」ことにあったといわれております。

古代ギリシアのプラトンと明治時代の福沢諭吉を無理やり一つにするつもりはありません。プラトンの哲人王と福沢の「聡明の大智」とは直ちに同じものではありません。しかし、時代を変えるには「魂の向きを変える」必要があるという認識において、両者に共通のものを見出せると信じております。その上で、われわれはこの課題をどう引き受けることができるのか、真摯に議論を交わして参りたいと存じております。

あらゆる会合は有志の集まりです。しかし、本会は以上申し述べたように、格別の意味を持つ有志の集まりであります。有志の皆様のごからの積極的なご参加とご協力をよろしくお願い申し上げます。発起人としてのメッセージを締めさせていただきます。

日本アカデミア事務局（公益財団法人 日本生産性本部内）

〒100-6104 千代田区永田町 2-11-1
山王パークタワー 4階
TEL:03-5511-2030 FAX:03-5511-2022
メール：j-akademeia@jpc-net.jp



JAPAN AKADEMEIA

Sanno Park Tower 4 F
2-11-1, Nagata-cho, Chiyoda-ku,
Tokyo, Japan, 100-6104